

**製品名:** ニューロカルシン  $\delta$  ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab14603

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	NCALD
別名	NCALD; Neurocalcin-delta
遺伝子 ID	83988.0
SwissProt ID	P61601
免疫原	ニューロカルシン $\delta$ から誘導された合成ペプチド。アミノ酸範囲: 370-450

**背景**

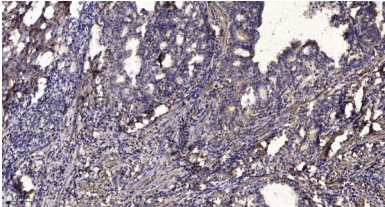
この遺伝子は、カルシウム結合タンパク質である神経カルシウムセンサー（NCS）ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、N末端ミリスチル化シグナルと4つのEFハンドカルシウム結合ループを有しています。このタンパク質は、安静時

のカルシウム濃度では細胞質に存在しますが、細胞内カルシウム濃度の上昇によりミリスチル基が露出する構造変化が誘導され、その結果、タンパク質は膜に会合し、核周縁トランスゴルジネットワークと部分的に共局在します。このタンパク質は、Gタンパク質共役受容体シグナル伝達の調節因子であると考えられています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた複数のバリエーションが確認されており、いずれも同じタンパク質をコードしています。さらにバリエーションが存在する可能性がありますが、その生物学的妥当性は確認されていません。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: ロドプシンリン酸化のカルシウム依存性制御に関与している可能性があります。3つのカルシウムイオンを結合します。類似性:リカバリンファミリーに属します。類似性:4つのEFハンドドメインが含まれます。組織特異性:網膜、大脳、小脳、脳幹、脊髄、精巣、卵巣、小腸。、

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト胃腺癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、45分)。